

(平成22年4月分)

部 門	市況の概要
野 菜	4月期の野菜の入荷状況は、根菜類を除き生育期の日照不足の影響等により生育が遅れ、入荷減となり、野菜全体の入荷量は、前年同期を6%下回った。 価格は、全国的な品薄状態から単価高となり、野菜全体としては前年同期を17%上回った。 品目別には、キャベツ、ほうれんそう、レタス、きゅうり、なす、トマト、ピーマン、ばれいしょが入荷減の単価高、長大根、西洋にんじんが入荷増の単価高、筍が入荷増の単価安、はくさいが入荷前年並みの単価安となった。 根菜類は、入荷が7%増加し、価格は6%高となった。 葉菜類は、入荷が11%減少し、価格は22%高となった。 果菜類は、入荷が13%減少し、価格は18%高となった。 土物類は、入荷が7%減少し、価格は34%高となった。
果 実	4月期の果実の入荷状況は、柑橘類を除き、天候不順の影響等により入荷減となり、果実全体の入荷量としては前年同期を4%下回った。 価格は、りんご類、いちご類、スイカ類が入荷減による単価高、柑橘類が入荷増による単価安、メロン類は、入荷減であったが、前年高値であったことから前年並みとなった。果実全体としては前年並みとなった。 品目別には、甘夏柑が入荷減の単価安、清見オレンジが入荷増の単価安、ふじりんごが入荷前年並みの単価高、いちごが入荷減の単価高、アールスメロンが入荷前年並みの単価安、アンデスメロンが入荷増の単価前年並み、大玉スイカが入荷減の単価前年並みとなった。 柑橘類は、入荷が16%増加し、価格は3%安となった。 りんご類は、入荷が6%減少し、価格は13%高となった。 いちご類は、入荷が11%減少し、価格は7%高となった。 メロン類は、入荷が5%減少し、価格は前年並みとなった。 スイカ類は、入荷が16%減少し、価格は4%高となった。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】	
長大根	長崎県を中心に，千葉県，鹿児島県，滋賀県，香川県からの入荷。千葉県産が低温，日照不足の影響から大きく入荷減となったが，他産地からの入荷が順調であったことから前年同期を 6 % 上回った。 価格は，加工需要が多く前年同期を 11 % 上回った。
西洋人参	徳島県を中心に，長崎県，鹿児島県からの入荷。生育の遅れていた長崎県，鹿児島県からの入荷が本月に集中したため入荷量は，前年同期を 9 % 上回った。 中旬以降，主力の徳島県産が天候不順により不安定になったことから，価格は，前年同期を 20 % 上回った。
たけのこ	京都府を中心に徳島県，福岡県からの入荷。主力の京都府産で夏場の降雨量が十分であったことから，豊作傾向となり当月の入荷量は，前年同期を 16 % 上回った。 価格は，入荷増により前年同期を 12 % 下回った。
【葉菜類】	
はくさい	茨城県を中心に，長崎県，熊本県，福岡県からの入荷。生育期の天候不順により小玉傾向での入荷となったが，遅れていた九州からの入荷が集中したことにより入荷量は，前年並みとなった。 価格は，中旬以降，九州からの入荷が当月に集中したことにより，前年同期を 10 % 下回った。
キャベツ	愛知県を中心に，神奈川県，兵庫県，鹿児島県，滋賀県からの入荷。生育期の低温と降雨が続いたことにより，当月の入荷量は，前年同期を 19 % 下回った。 価格は，全国的な品薄状態から単価高で推移し，前年同期を 23 % 上回った。
ほうれんそう	京都府を中心に，徳島県，岐阜県，滋賀県，茨城県からの入荷。例年，下旬から入荷のある岐阜県産の生育の遅れから入荷量は，前年同期を 10 % 下回った。 価格は，入荷減により前年同期を 27 % 上回った。
レタス	兵庫県，茨城県を中心に，徳島県，長崎県，岡山県からの入荷。各産地とも生育期の天候不順から小玉傾向での入荷となり前年同期を 27 % 下回った。 価格は，全国的な品薄状態から単価高で推移し，前年同期を 35 % 上回った。

【果菜類】 きゅうり	宮崎県，高知県を中心に，滋賀県，福岡県，愛媛県からの入荷。 各産地とも夜温が低く曇天の日が多かったことから入荷量は， 前年を 24 % 下回った。 価格は，入荷減により前年同期を 40 % 上回った。
なす	高知県を中心に，岡山県，徳島県，滋賀県からの入荷。各産地 とも生育期の天候不順から花落ちが多く，入荷量は，前年同期を 34 % 下回った。 価格は，入荷減により前年同期を 30 % 上回った。
トマト	熊本県を中心に，福岡県，三重県，佐賀県，奈良県からの入荷。 各産地とも生育期の低温と日照不足により小玉傾向での入荷と なり入荷量は，前年同期を 6 % 下回った。 価格は，入荷減により前年同期を 5 % 上回った。
ピーマン	宮崎県を中心に，高知県，茨城県，鹿児島県からの入荷。各産 地とも夜温が低く曇天の日が多かったことから，入荷量は，前年 同期を 19 % 下回った。 価格は，入荷減により前年同期を 26 % 上回った。
【土物類】 ばれいしょ (メーク含む)	鹿児島県，北海道を中心に，長崎県からの入荷。各産地とも生 育期の天候不順から小玉傾向での入荷となり前年同期を 10 % 下回った。 価格は，入荷減により前年同期を 31 % 上回った。
たまねぎ	長崎県，北海道を中心に，佐賀県，兵庫県からの入荷。長崎県， 佐賀県産が，生育期の天候不順から小玉傾向での入荷となり前年 同期を 7 % 下回った。 価格は，入荷減により前年同期を 44 % 上回った。
【その他野菜】 生しいたけ	徳島県を中心に，広島県，岡山県，和歌山県からの入荷。和歌 山県，北海道からの入荷増により，全体の入荷量は，前年同期を 8 % 上回った。 価格は，前年並みとなった。

主要品目（果実）	市況の概況
甘夏柑	愛媛県，熊本県を中心に，福岡県，和歌山県，鹿児島県からの入荷。各産地ともに生育期の雨量が例年より多かった影響などにより腐敗果の発生が多く，入荷量は，前年同期を３％下回った。 価格は，他の柑橘との競合もあり前年同期を１２％下回った。
清見	和歌山県を中心に，福岡県，佐賀県，広島県からの入荷。各産地ともに生育期の雨量が例年より多かった影響などにより腐敗果の発生が多くなったものの，入荷量は，入荷の少なかった前年同期を１４％上回った。 価格は，下位等級の入荷が多かったことから前年同期を９％下回った。
ふじ （サン含む）	青森県を中心とする入荷。産地貯蔵のサンふじに品質低下が見られたことから有袋ふじへの切替えを早期開始した。全体の入荷量は，前年同期並みとなった。 価格は，安値であった前年同期を１４％上回った。
いちご	福岡県，熊本県を中心に，長崎県，大分県，佐賀県からの入荷。各産地ともに生育期の日照不足のより着果不良となり，入荷量は，前年同期を１１％下回った。 価格は，入荷減により前年同期を７％上回った。
アールス	高知県，静岡県を中心に，宮崎県，熊本県からの入荷。宮崎県産の本市場への入荷が減少したが，加温用重油価格が落ち着いていたことから主力の静岡産をはじめ各産地ともに順調な入荷となり，入荷量は，前年同期並みとなった。 価格は，需要の低迷により前年同期を７％下回った。
アンデス	熊本県を中心に，鹿児島県からの入荷。主力の熊本県産で生育期の天候不順から小玉傾向での入荷となったが，入荷量は，入荷の少なかった前年同期を２３％上回った。 価格は，下位等級の割合が多かったものの前年同期並みとなった。
大玉スイカ	熊本県を中心に，高知県からの入荷。主力の熊本県産が生育期の天候不順から小玉傾向での入荷となり前年同期を１６％下回った。 価格は，入荷減ながら，下位等級の割合が多く前年並みとなった。